



横浜市立桂小学校

桂小だより

KATSURA NEWS LETTER

春休み号

令和3年3月26日

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/>

学校についての詳細や学校生活についてはHPをご覧ください。

E-mail: y3katura@edu.city.yokohama.jp 桂小学校HPのQRコードはこちら→



希望の炎を灯して（式辞）

校長 寺澤 みゆき

正門の桜もほころび、桂小学校にも春の息吹が感じられるようになりました。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。令和2年度 横浜市立桂小学校 第25回 卒業証書授与式を、このような温かい雰囲気の中、挙行できますことを心より感謝申し上げます。

思い起こせば、今年度は学校教育にとっても困難続きの年でした。休業、分散登校。コミュニケーションや接触をできるだけ控える学校生活。長年教育に携わってきた私たち教師も、暗中模索な日々、卒業生の皆さんが、不安になったり無力感に襲われたりしていたとしても当然の状況でした。しかし、制限の多い学校生活の中でも、皆さんは厳しいルールを守り、運動会やペア学年遠足、修学旅行、そして各クラスで取り組んだ総合的な学習の一連の活動を立派にやり遂げることができました。かつらっぴーズどら焼き、階段アート、素敵でした。全校児童や保護者、地域の方々に笑顔をもたらしてくれました。自ら課題を見出し、方法を考え、皆でやり遂げたことに自信を持ってください。

門出の日、皆さんに、苦難を乗り越え復帰した池江璃花子選手の言葉を贈ります。

池江選手は2016年リオデジャネイロオリンピックに16歳で出場し、日本人選手としては最多の7種目出場、100mバタフライでは5位入賞した選手です。2019年1月に白血病を発症し療養をすることになりましたが、昨年みごと復帰を遂げることができました。

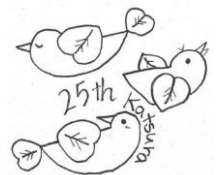
その池江選手が自分の闘病生活とオリンピック延期の状況を重ね合わせ、世界のアスリートらに向けて話した言葉（抜粋）です。

「思っていた未来が、一夜にして、別世界のように変わる。それは、とてもきつい経験でした。闘病中、仲間のアスリートの頑張りに たくさんの力をもらいました。今だって、そうです。— 練習でみんなに追いつけない。悔しい。— 逆境からはい上がっていく時には、どうしても、希望の力が必要だということです。希望が遠くに輝いているからこそ、どんなにつらくても、前を向いて頑張れる。」

これはアスリートたちだけでなく、諦めることに慣れ、後ろ向きな思考になりがちな私たちへのメッセージだと思いました。

皆さんのこれからの人生にも、予想もしない困難が待ち受けているかもしれません。その時は、決してあきらめず、心に希望の炎を灯し、前進して行ってください。令和2年度、桂小学校で学んだ皆さんにはその力があると信じています。

結びになりましたが、保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げますとともに、本校の教育活動に、6年間の長きにわたり、ご支援ご協力をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。卒業生の更なるご活躍と希望にあふれる未来を願い、私の式辞といたします。



令和3年3月19日 横浜市立桂小学校 校長 寺澤みゆき

令和3年3月19日、61名の卒業生が桂小学校を巣立っていきました。日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、児童を温かく見守ってくださっている地域の方々、本当にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。来年度も、どうぞよろしく願いいたします。